

御蔵島村 議会だより

編集・発行

御蔵島村議会
「議会だより」編集委員会
TEL8-2121
FAX8-2239



連合運動会

掲載記事.....

- 1 議長頭文
- 2 第3回定例会について
 - 1) 議決事項
 - 2) 一般質問
 - 3) 主な質疑
- 3 議会予定等

平成21年10月20日

頭 文

議長 栗本 道雄

御蔵島の秋も駆け足で終わろうとしています。天気の良い日にはヒヨドリの渡りもずいぶん見えるようになりました。

季節遅れの台風が通過する今年。特に10月7日から8日にかけて日本列島を直撃した台風18号。直撃は避けられたものの、御蔵島にも多くの爪あとを残してゆきました。

災害に備える心構えは、村はもとより、住民一人ひとりが十分に持たないといけないことを改めて思わせられました。

さて、9月の定例議会も無事に終わり。今回は20年度決算及び21年度補正予算等が審議されました。

観光シーズンも終わりに近づき。冬に向かって、季節性インフルエンザ・新型インフルエンザ等の流行が心配されています。伊豆諸島の中でも御蔵島では、幸いなことに新型インフルエンザは流行の兆しは見せていませんが、引き続き住民のみなさん一人ひとりの予防策をお願いします。

補正予算においても250万円の新型インフルエンザ対策費がされました。御蔵島に配布されるワクチンの数量や料金等々まだまだ不確定の要素はありますが、一人でも多くの住民に安く（あるいは無料で）というのが村の考えです。

また、今後村の行う工事も村内で多くなります。近隣住民の方にはご迷惑をかけることも多々あると思いますが、問題があれば村の担当はもとより議員でも構いませんので、一報いただければ最善を尽くしたいと思います。

都議会や国会ではみなさんご存知の通り、民主党が第一党になり長く続いた自民党による政治が終わり、民主党による政治が始まっています。しかし、いかなる政権になっても御蔵島を含む地方にも島民・都民・国民は住み続けています。

地方の国民の生活が不安定になることが無いように、今後も村等と一致団結して島民の生活の安定を守るのが議会及び議員の仕事と思い、全議員活動を続けてゆく心構えです。

平成21年第3回定例会 議決事項

平成21年第3回定例村議会が、9月15日(火)から開会され、20年度決算10件21年度補正予算10件、条例2件、同意1件、を議決しました。議決された議案は、次の通りです。

〔決算〕平成20年度

(単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引残額
一般会計	1,160,979,655	1,082,679,755	78,299,900
航路会計	44,740,127	43,336,913	1,403,214
産業センター会計	21,617,630	21,127,909	489,721
会館会計	14,869,868	14,613,344	256,524
宿泊施設会計	36,821,946	36,695,949	125,997
簡易水道会計	44,699,008	44,602,155	96,853
国保会計(事業)	62,007,754	58,499,867	3,507,887
〃(直診)	66,392,403	64,400,329	1,992,074
老保〔医療〕会計	3,154,010	2,467,449	686,561
介護保険会計(事業)	22,374,513	21,880,845	493,668
〃(サービス)	789,564	715,585	73,979
後期高齢者医会計	9,260,160	8,943,665	316,495

〔補正予算〕平成21年度

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(2回)	929,281	90,413	1,019,694
航路会計(1回)	47,157	2,800	49,957
産業センター会計(1回)	27,396	19	27,415
御蔵会館会計(1回)	14,917	0	14,917
宿泊施設会計(1回)	37,999	124	38,123
簡易水道会計(1回)	17,397	0	17,397
国保会計(事業)(2回)	68,536	3,090	71,626
〃(直診)(2回)	79,050	678	79,728
老保〔医療〕会計(1回)	10	690	700
介護保険会計(事業)(1回)	24,006	934	24,940
〃(サービス)(1回)	2,436	0	2,436
後期高齢者医療会計(1回)	5,606	0	5,606

〔条 例〕

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第1号	御蔵島村定住促進住宅設置及び管理条例	平成21年9月15日	原案可決
議案第2号	御蔵島村村有林野部分林条例の特例に関する条例の一部を改正する条例	平成21年9月15日	原案可決

〔同 意〕

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
同意第1号	御蔵島村教育委員の任命について	平成21年9月15日	原案可決

〔その他〕

- 平成20年度教育委員会事務点検評価報告

一般質問

長谷川久雄 議員

都議選と衆議院選挙の結果

【質問】 今回の7月に行われた都議選と8月に行われた衆議院選挙の結果、今まで第1党であった自民党が、下に落ちて民主党がそれに代わって登ってきたわけですから、これによって村の行政が今までのやり方と変わっていく必要があるのか、それとも従来の自民党に陳情していく方式をとるのか、どこの島も政権が代わって心配していると思うのですが御蔵島村としては今後従来型どおりやっていくのか、それとも独自の新たな戦略を練ってやっていくのかそのへんをわかり易くお答え願いたいと思います。

【回答】 村長 先々週東京に出たときに町村会事務局によりして頂いて、各町村がどうやって動いているのか事情を知りたいということでした。島の方はまだ事務局もどういった対応をしていくのかとまっています。もちろん今まで自民党の先生にも大変お世話になっている部分があります、ましてや今回補正で上げてある、温泉の調査については、自民党の都議会議員の先生の紹介でいただいている部分がありますのでそれを忘れることはできない。だからといって今後我々

はそのままでいいかというところは、なかなかそうはいかないだろうと、やはりこれからの部分については、民主党の方にも陳情していく、こういった方法でやっていくのかいろいろ調べて検討していかなければいけないというふうには思っています。今都議会それから国の方もどこの民主党の機関に陳情等の話を持っていくか、全く手探り状態で東京都町村会それから島嶼町村会の方も全く決まっています。我々も情報をつかんでこれから島嶼町村長会議の中で検討をして皆さんで統一した動きにしていきたいと私は思っています。できれば事務局の方にもそうやって動いていただだけませんかという話はできています。

黒田正道議員

基本構想について

【質問】 昨年度に第1回の策定のための委員会が開かれその中でアンケートなどを実施したようではありますが、それ以来一度も会議がおこなわれていない。本来実行性があるてよりいいものを作ろうとして、時間がなから単年度で焦って作るのではなくて2年度かけてゆっくり作りましょうというのとどったのですが、今年度も半分が過ぎようとしています。4月から考えるとその中で1回も会議が開かれなくてこれでは去年と同じような結果になるのかと思うと心

配です。早急に第2回を開催して今年度中にぜひ策定できるようにお願いしたい。

【回答】 総務課長補佐 一般住民の皆様のご協力を得ましてアンケート収集ということをしていただいております、その中で報告書というかたちで出来上がってきているところなのですが、一部わかりやすくグラフですとかそういうところを編集し直しをかけた提示できるようなかたちになりましたので、それについては一両日中に委員の皆様配布して今後の参考資料として進路を図っていきたく思っております。また現在総合的な部分で、段取りの問題ではありますが先般会長、副会長さん交えて、事前資料の配布ですとかそういったかたちの貴重な意見をたまわりましたので、それを受けまして今月末に今一度協議の方をさせていただきまして来月中旬に2回目の審議会の方をという段取りで進めています。

定住促進住宅について

【質問】 本議会に定住促進住宅の設置及び管理のための条例がだされていますが、この住宅は今までの村営住宅と違って公営住宅法の適用を受けないということで、村が独自の使用料を設定できるということになってるので、かねてから住宅が高い高いと言ってきた私にとっては望ましいことなのですが、気になるのが今の住宅に入っている

方とそれから今度の住宅に入る方の格差ができるのではないかと、住民によっては不公平感を持つようになるのではないかと心配をしております。ただ今までの住宅が公営住宅法の適用を受けている以上、住宅法以上に安くすることはできないと思いますので何らかの定住促進という意味からも現在の住宅に入っている方に、何か格差解消のための事業に取り組んでいく必要性を感じるのですがいかがでしょうか。

〔回答〕 村長 この補正予算の中に用地の購入ということで1件補正に組まれています。私はこの定住住宅を含めて住宅については、先に用地の確保。それはこれから集合住宅と一戸建ての住宅というようなかたちのものを考えたときに、それに見合った用地を取得しなければいけない。今年度については時間がありますので新規にということにはなりません。来年度以降でも用地が購入できるような交渉が整えば、先に用地を購入して、たとえばそこに一戸建ての住宅を建てるように開放するような定住者またはイターンしてきた人Uターンの人達または既存で今まで住んでいる人たちの中で、そういう希望があればそういうものをこれから作らせていただきたいと思います。

〔質問〕 ということは格差の是正というよりは、今ある公営住宅法の規制を受ける住宅を定住促進住宅に切り替えていくという考え方でよろしいですか。今住んでいる住宅

は収入によって家賃が違っていますから安い人から高い人までいる、上は十何万の人が同じ住宅でもいるわけですから、それについては手を付けずにこの定住促進住宅を作ることによって高い人に移っていただきたい、格差をなくすという考え方で。

〔回答〕 村長 それは両方が含まれると思います。4号棟については一番住宅家賃が高いわけですから、あそこはまだ手法として少し勉強しなければいけない部分があると思います。ただそれ以外のところはもう建て替えの時期にきている部分もありますからそれはその中で土地の造成を取り壊したときにどういうかたちにするか、どうやって、やっていくか今後検討していかなければいけないと思います。ただしそれ以外に候補地として用地が見つければ、随時買ってそれをたとえば土地だけを分譲して上ものについては自分で建ててもらおうとか、そういうものを増やしていきたい。多分それについては今の基本構想の中に取り入れなければいけない部分だと思っています。

〔質問〕 もう一度だけ確認しますが、新しい住宅をつくること以外にたとえば今住んでいる方の家賃を軽減するポイント制をするとか、年数によってポイントを与えて将来村が作った宅地を優先的にとか、その時に安くあげる方法にするとか、格差を感じないような政策を考えてほしいと思っています。確かに新しい住宅を作って安い住宅に入っ

ていただくのが早いのでしようけれども、今現在高い家賃を払っている方が高い家賃を払ってもいいなと思えるような政策とか家賃を別のかたちで保管する何か、こんな家賃なら払ってもいいかなという企画を考えていただけないかなと思ったのですが。それは考えて頂けなくてやはり新しい住宅を作る土地を造成するというところで格差を是正しようとするということでしょうか。

〔回答〕 村長 即答はできませんが、できればそこも含めて今後の部分で考えさせていただきますか。

主な質疑

御蔵荘について

黒田正道議員 昨年度繰越金が175万円あったが今年繰越金が、12万5千円になるということ。単年度で見ると160万円くらいの実際赤字経営になる。確かに今年度の4月からやっている方が変わったので少しは状況が違いますが、去年と同じことをやっていけば多分同じくらいの赤字を作るのが目に見えているので、何らかの手を打っているのかそれとも今年は去年よりか状況がいいのかそのへんのお話を伺いたいのですが。

発電係長

今年の4月から経営が変わって頑張ってもらっていますが、正直言って世の中の不景気の影響わかりませんが、傾向的にはいいですが、今のところ収入等は去年と比べて減っています。お客様等の食事等の対応の不備で多少の苦情は聞いていますがこの前ほどは。食事等に関してはできるだけ島の食材を使うなどしているのだから前とはちよつと違っていますが実際的に利用等は去年並みにいっていないのが事実です。

黒田正道議員

以前委託料のところ、この委託料はあくまでも目安であつてもし営業が不振であれば減額して支払うこともあるという説明を受けていたのですが、現在もそのことは継続しているのですか。

発電係長

私が聞いている限りそれに関しては減額等そういうものは一切ない。赤字になつても委託料の減額は今のところしない。

黒田正道議員

以前村の答弁としては赤字になつた場合には当然委託料の減額もあり得るということで回答を得ている。契約の相手が変わったからそれが変わりますという事なのか、それともその話が残つてもし赤字が3・4百万出るのであれば委託料の減額があるのかそのへん確認お願いします。

総務課長

前にご説明したのは、売上等が減つて契約自体の金額とおおいに差額がでる場合には、その委託料についての減額を申

し出たいと、そういう契約をしたいというかたちで相手に申し込んだのですが、相手方がそれでは呑めないということで結局定額の契約でなければできないということとで今にきている。その事業費の運営の中で赤字がでたからその中で事業委託料を減額するという契約ができなかったということですが。

黒田正道議員

多分議事録にはそういうふうには載っていないと思います。減額をすると断言した。記憶違いかもしれませんが。ペナルティーがないから結局働く方はお客さんが少ない方がいい、忙しくない方がいいということになつてしまう。不景気だからという理由で赤字がでると村税が投入される。去年は160万の赤字を作っているわけですから、去年よりか悪いということになれば200万、300万の赤字が見込まれる。300万のその赤字を補ってんしてもなおかつあまりあるのだから、村のPRができるのかあるのだから、その効果を考えてみてどのくらい赤字だつたら御蔵荘を維持していく価値があるのかということ。赤字を作りながら住民ではない人にサービスをしているわけですから。そのへんはやはりこれから始まる基本構想の中にも入ってくることは思うのですけれども、現実には去年の単年度の決算をみると160万の赤字を作っているわけですから、何らかの手を打つとかですね、工夫をするとか赤字の出ない経営の努

総務課長

力をするというふうにしていただかないと、不景気だからお客さんが来ないから赤字が増えましたでは、きっと住民に納得していただけないと思うので。そのへんの対策を年度が終わらないうちにぜひ、今からでは間に合わないかもしれないけれども、来年度に向けて契約者を変えるなり、募集方法を変えるなり何か手を打つ必要があると思うのですがいかがでしょうか。

その話は初期の段階からずっとある問題ですから村の方もそのへんは理解しているのですけれども、これは当初の事業をスタートする段階からやはり公設民営というかたちで事業を立ち上げていまして、出来れば管理は一括して民営なら民営で管理をしてもらいたいというのがずっと村の考えで変わらない。ただ現実には今それを受け入れてくれる業者がない段階でこういうかたちでできておりますけれども、できれば公設民営のかたちで運営は全部管理してもらいたい。今現実には21年度が半年間過ぎて前年に比べて三角(マイナス)になっている部分があるということですが、当然売り上げに関しては3月までに赤字決算にならないようなかたちで営業努力するとういうかたちでもっていきますけれども。ただ実際に御蔵荘が営業しないと御蔵の観光サービスは成り立たないという現状があるわけで、御蔵荘で

年間3千名強のお客さんの営業をするわけですから、そうするとやはり御蔵荘が今御蔵島には無くてはならないという観光の大きな要素を占める施設というかたちでもって理解していただきますので、そういう面で営業に対する御蔵荘の評価としては住民も含めかなりウエイトが高いのだというふうに村の方としては理解していません。

黒田正道議員

3千名のお客さんを御蔵荘で取っている、逆に考えると民間に行くお客さんを取っていると考えることもできる。御蔵荘があることによって、潤っているのは、1800万の委託料を貰う会社とそこに入っているイルカの業者、それから食堂。観光を担っているというふうには僕は思えない。お客の数は1万人来ているうちの3千人ですから確かに大きな施設ではあるのですけれども、総務課長との認識にちよつと違いがある。それは認識の違いですからいいとしても、赤字を作ったまでそれをやる必要があるのかというところに疑問が一つあります。それから、これから冬場ですから冬場に向けて期待できるのは宴会収入と業者さんの宿泊ぐらいですから、去年の160万の赤字で今でもマイナスになっているのであれば、かなりの努力をしていただかないと多分赤字を生むだろうと予測できる。この時点でやはりどこかで経営がうまくいっていないのかなと

いうのがもう一つ。それからもう一つは公設民営の話がありましたけれども、そういう募集をした経緯があったのかと記憶をたどっているのですが、やりたいという人がいるにもかかわらずそれがいつの間にか募集もかけずに業者が決まっていたり、それからこの人にお願ひしたらいいのではないかなという人がいたにもかかわらず、その人にそういう話がなかったと聞くと、公設民営を本当にやりたがっているのかなという気がしている。もし本気で公設民営をやるのであればそれなりのアクションをどんどん出してこの出身者なり、かつてここで働いてくれた人なりに、あなたの努力によっていくらでも儲かるというようなことでアピールしていただければと思うのですが。それをやられた記憶が僕にはないのですけれども、本当に公設民営をやりたいのか、それを今年度はそういうふうに募集をしていくのか、そのへんをもういっぺん伺いたいと思います。

総務課長

方法としては公設民営というかたちにもっていききたいというのは変わりませんので、今まで実際に公募で業者を選定したというかたちはないですからそういうかたちにもって行って、公募というかたちが適当かどうかは別にして、一般公募で業者選定をするようなかたちにしたいと思います。

広瀬豊彦議員 アルバイトは何名くらいで経営

(営業) しているのですか。

発電係長 多いときで4名です。

広瀬豊彦議員

私が思うには村の住民たちが働いてそれなりの収入を得ながら経営されていくのなら多少赤字も覚悟しているのだろうと思いますが、村がほとんど介入していない。ほとんど食品関係も都会からとっているとすると赤字経営でやっているとなるとまずいだろうと、イルカは確かにそれなりの利益を上げているのだからそれらはそれで貢献度はあるのだろうけれども、総合的に何か村が関与するようなかたちで。いま公設民営というかたちで進めると言っているのですけれども、私が来た頃には村民が働いていたように思う。聞くところによるとアルバイトの時間給はいいらしい、ところが実際に働く時間数が一人2時間3時間しかないとなれば、収入源となつて島で働けない。できるだけ仕事においても収入に合わせられるように、収入が安定するようなかたちでの経営というか、空いている時間は村の方で何とか使えらるか、総合的にしないといつまでたつてもこういうかたちが続いていくのだろうと、そういう人的な総合活用というのはいらないのですか。住民の働く場所としての活用はできないのかどうか、いらないから島外からよんでいるのはよくわかる

村長

のですが、もともとこういう施設は住民の雇用というのがあったと思う。

募集をかけて前は島の方がいたわけで、昨年の初め頃まではいたと思います。やはりそこにはいろいろ問題があつてそれで外から募集をかけたという経緯が。島の中で誰かれば当然その中で募集をかけてきていただければそれに越したことはないわけですから。

広瀬豊彦議員

原因というのは何だかわからないけれども、そういうのを解決していく方法とか何かあれば島の人が働ける。そういう部分で改善していけることがあれば改善していかないと、とてもじゃないけれども今の都会からの方に賃金を払い、それで赤字経営的なものになつていくということであれば原因を早く突き止めて。

村長

私が今まで見てきた中で、昨年の予約状況とかそういうものを見たときに、昨年の場合には、勝手に委託させている方で休暇を取るために予約を最初からその部分だけ決めて取つてないということで、予約状況、材料の購入そういうものを踏まえて月々のチェックをきちんとなければ駄目という指示を出しているわけです。今年の3月までいた方のものをチェックしていったときにそういうものが結構アバウトに捉えられていたということがありましたので、それはきちんとうちの方でみてそれで対処するようにという話をして、今それを踏まえてやっているわけ

ですけれども、これからも色々とでてくる中で当然お客さんが減ってくれば、それなりに原材料の購入とかが落ちてくるわけですから、それに合わせたやり方にしていくしかないでしょうということです。

広瀬豊彦議員

村長あるいは総務課長の方から大変努力をしているという話をお聞きしたのもう一步進んで努力をして改善を図るように頑張っていたきたい。

御蔵島村定住促進住宅設置及び**管理条例について**

長谷川久雄議員 最低の家賃の根拠が収入0から10万4千円が1万9千800円というのはどこからもつてきたのか。

産業課長補佐 今までの公営住宅法と同じ計算の中において、建設費等含めてその中から部屋の広さも含めて計算されて出てくる基礎家賃の一番下のクラスの数字を入れさせていただきました。

広瀬豊彦議員 勤務場所はこちらに来て新たに就職しても今日から一定の勤務場所とするのか、過去に半年間どこかに勤めていたという実績をとるのか。

産業課長補佐

これは、御蔵島村の中において住所又は一定の勤務場所を有する者。

広瀬豊彦議員

たとえばアルバイトの方だと勤務場所とするのか。

産業課長補佐

アルバイトはちよつと難しいのではないかと。

栗本道雄議員

仕事が御蔵島にあり、ずっと住む意思があつて行事に参加すれば、住民票がなくても入れるという認識でいいのですね。

産業課長補佐

あくまでも第一号の方で基本的には定住をしているという事が前提となります。

栗本道雄議員

基本的に住民でない限りは無理という事ですね。

黒田正道議員

そうであれば、そう書けばいい。たとえば住民票を有し、と書けばわかるけれども、これだと住民票はいらない、住民票は事情があつて移さないけれども十年以上、死ぬまで住みたいという人がいるかもしれない。それはもし住民票が必要ならば住民票を有し、と書くのが普通であつて誤解を受けるような記述は好ましくないとと思う。

総務課長補佐

住宅の入居対象者の資格の部分でして、特に自治体によってまだ提出前に申し込まれる方がいるので、時限的な話として入居資格という部分で謳われている部分があるので、必ずしも住所を置かないで住めるという話ではないという事です。どちらかという申し込めるかという話です。

黒田正道議員

住み替えのことなのですが、家

村長

賃が高すぎて子供が中学から高校に行くときに、扶養家族が減るわけですから、その度に家賃が上がっていくということを考えると、引越しいというのを頭の中で考えてくる。ここが出生じゃない者にとつて子供がむこうでアパートを借りると随分お金が掛かる、そのときにむこうで仕事があればむこうに行つてと頭によぎるのです。それが、ここの家賃が高いのが要因で選択する人がいはいないかという不安がある。超過しているというのは収入が多いからという半面と、共働きをしているから、それから扶養家族が少ないという要因がある。4号棟にたまたま入つて扶養家族が減つていった、収入が年相応に上がつていくときに、家賃が上がっていくので、そういう人はやはり家族構成が変わつた、人が減りました、収入がうんと増えましたという事を理由に住み替えの優先順位をつけるなり審査が必要でしょうけれども。そこには一応審査があつてみんなが納得出来るようなかたちで、もちろんこの定住促進住宅が空いている場合に限りですよ。そのへんは村長が定めるというのがあるので、そこを含めてという気はするのですが、それはルールの中にそういうのがあるというのが認識されていればありがたいと思うのですがいかがでしょうか。

誰でも入れるというものではないですから、そのへんはルール作りを含めてやる必要がある。いまの定住の部分でこういう住宅が増えてくると、余計そういう事が起きてくるという可能性がありまして、確かにご指摘の通り何らかのかたちでそれを作つておかないと、今後も当然起きることですから。まして民間に入っている人たちが、民間から出ていく可能性もあるわけで、そういったことを考えるとルールを作つておいてそれで、あまりにも上がった場合にはそこに、避難的にかんぶり住宅に、空いていけば移動できるというようない。ただし誰でも、というかたちにはならない。

て

伊豆諸島開発出資金500万円について

総務課長

これは8月5日の日に伊豆諸島開発の方から各株主に対して個別説明がありまして、伊豆諸島開発の赤字補てんを補助金というかたちで出していたかという話があつたのですけれども、9町村の首長の中でも色々意見がありましていきなり赤字の部分の現金で出資するのはいかなものかという意見もありまして、それで各首長、東海汽船も含めて株主で色々協議した結果、9町村の首長と東海汽船が揃つて合意するのであれば、補助金というかたちではなくて、出資金、株の増配とい

うことで各9町村と東海汽船でその分を補てんするというところで、一応これは全9町村と東海の方で話が確定しまして他の町村も今回補正予算で予算計上していると聞いております。

栗本寿晃議員

負担額の資料を見させてもらうと、御蔵はなんでこんなに負担しなければいけないのかと思ひますけれど。

村長

まず一つは、小笠原それから青ヶ島これは伊豆諸島開発の分です、いま伊豆諸島開発で船を運航されているのは実際に、小笠原と青ヶ島のみです、その二つの島が当事者ということで負担金については持ち合いで多くしているということですが、それともう一つは大島管内、神津島、新島、利島はなぜ低くなっているかという、新神船の増資が同じようにあります。そちらの方の増資分を含んでいきますので減になっています。御蔵とそれから三宅、大島は500万ということですからそれなげさういうふうになっているかという、貨物船についてはゆり丸、黒潮が伊豆諸島ということなのですが、実際には伊豆諸島開発とうちの方に入ってきている伊豆七島海運それから新神汽船の船がドックに入ったり何かするときに使い回しをしているということ、そういうかたちで出すということでは合意した分です。当初の部分からいくと私はあまり乗り気ではなかったが、どうしても島の航路全体に貨物船にしてもドックに入つてし

まうと持ち回りでの船を借りてチャーターというかたちで運行されているというところがありませんので、それで皆さんでということになって落ち着いたということです。

広瀬正一議員 町村と東海で4千5百万ずつの9

千万増資して1億1千万の出資額になりますけれども、伊豆諸島開発は当座としてはこれでまわっていくということですか。

総務課長

もともと伊豆諸島開発は補助航路で、今までずっと運営をしてきているのですけれども、その補助額の総額が落ちてきている。そのへんで今までの累積の赤字が消化できなくなつたという部分で、今回は特例措置として各町村と親会社の東海に増資をして安定した運営をしたいということとできていると理解していますから今回限りの措置だということに理解しています。

長谷川久雄議員 伊豆諸島開発が島に与える影

響は大きいのですが、これも以前からいつている話ですけれど、東京―御蔵、東京―八丈の運賃が同じというのも解せないの、相手に言えるとしたら、こういう時がチャンスじゃないかと思うのですけれど、その運賃の是正についてどう思いますか。なんでも一方的にむこうの言いなりになっているような、我々村民からすればそういう気がするのですけれども。

村長

実はこの話がでたときに、私の方も直接東海汽船に直接行ってこの前話してきて

います。伊豆諸島開発というのは親会社が東海汽船ということで、言うべきものは常に御蔵は昔のえびね丸の事も含めてずっとこういうふうになっていくと。船が途中で

ロープを一本取って風が吹いたからといって行ってしまつと、それから棧橋で作業員が船の方から頭から怒鳴られるというこんな話を聞いてそれはまかりならんと、そのへんについてはお互いに気持ち良く危険な作業もあるのだから、そういうことで事故等が起きる可能性もあると、だからもつとお互いに連絡を取り合つてそれでやつてもらつようなかたちをとらないとうまくないと申し入れをしています。いまはうちの方でそういったものを上げて問題になっている部分それも東海汽船の方には文章にしてくださいという指示を出しています。航路問題については島の中でも御蔵島と三宅島では温度差がある、それから八丈とも温度差がある。こういう話は我々でもつと詰めてそれから東海汽船に陳情するというようなかたちをこれから作りたいたいと思います。

長谷川久雄議員

運賃の話は村民全体に関わる話ですから是非それも一つのつけて親会社東海汽船なり伊豆諸島開発にも申すということをぜひとも要望します。

その他質疑

● クレーン付きトラックの使用について

栗本寿晃議員

クレーン付きトラックの使用について、お伺いしたいのですけれども、条例が出された時の議会で使用者ごとに支払をおこなうという返答をいただいたのですが、現状は又貸ししても又貸しされた方、2番目に使った方が使用料を払っていないという状態になっていると思うのですけれども、現状の対応はどうなっているのでしょうか。

産業課長補佐

いまそういうふう指摘されても、我々の方では又貸しの事実はつかんでおりません。ここで使用者が来られて借りていつて返してくるといふ部分の管理しかしておりませんので、実際私の方では又貸しがされているということは把握しておりません。借りていった人のモラルの関係だとは思いますが。

広瀬豊彦議員

これは、管理はきちんとやりますという前回はそういうふうなかたちで村に戻したわけですからそういうニューが入ってくれば、確認というか把握をするようにしていかないと、私はわかりませんというだけで終わってしまうと、これについては追跡調査するなり、何らかのかたちでは是正措置をするなり、始めて借りた人にはできるだけそういう事はしないで欲しいと。そういうのも踏まえて今後の対

策を立てなければ。

産業課長補佐 わかりました。注意はしていきたいと思えます。

● かんぶり515住宅出入り口階段

について

栗本道雄議員 かんぶり住宅の出入り口が階段になっているのですけれど、直接道路へ出るようになっていて、どう見ても危ない。山側もコンクリートでわざわざ目隠しするように背の高い人はともかく、子どもなんかは道路に出るまで見えませんので非常に危険な階段が作られているという認識。駐車場整備をするときに何らかの見直しをかけて安全な出入り口を作るようにしてもらえれば助かります。

産業建設係長 これから起工というかたちになりますので、そのへんの安全面を確保して、子供さんたちが直接道路に出て事故にあわないようなかたちの見直しをして、安全面をもう一度考えさせてもらって階段の方向を加えてやり直せば考えてみます。

● 御蔵会館について

長谷川久雄議員 御蔵島会館が今メインになっているのは、御蔵からいつている子弟の宿舎としての役割だと思えますが、私は御蔵

会館に代わる宿舎を村がどこかに手当てして欲しいという考え方ですが、今後この御蔵島会館をどのように運営していくのか。中学を卒業して、高校に入るとなると、子ども一人中学を出て東京、三宅で暮らすというのも大変だということはどうしても、親御さんが一緒になって出ていってしまおうと、また御蔵が衰退するということな要因になりかねないので、何らかの村からのメッセージが必要だと思いますが、今後どういうお考えでいらっしゃるのかお伺いします。

村長

昨年と同じように、利用されていないのだからもつと他のことを考えた方がいいのではないかと。指摘を受けた部分もあつたと思います。現在は寮生1名というかたちで。私がこの前御蔵会館に行つたときに伺つたら島の人でということになるともうほとんど利用されていない。もちろん誰もということではなくて何名かはこの13万いくらかという収入の中に。誰もいなければ休館にするのかそれとも全く廃止してしまつて用地を売却するということも考えられます。しかしできることであればそのまま誰もいなければ当面の間は休館にしておいてというのが今のところいけば再開することは可能なわけですから、そういうものも含めて検討したいと思つています。

長谷川久雄議員

その休館という方法もありますけれども、休館している間メンテナンスする費用が掛かるわけでして、たとえば御蔵島会館に代わる三宅にあるかどうかはわかりませんが昔でいう下宿というところを村で斡旋してやるのか、東京に出た人にはそれなりの補助をするのか策はいろいろあると思いますが、御蔵も人口がやっとならぬところをそういう理由でまた人口減少となるのを心配していますので、是非安心して御蔵で暮らせる施策をとつてもらいたいと思えます。

● 新型インフルエンザ対策について

長谷川久雄議員

ワクチンを1回打つことは間違いないようでありませうけれども、打つにあつて今回の新型インフルエンザは1回の接種の値段が4千円ぐらいになるのではないかと。話を聞いていますけれども、今後もしインフルエンザの接種が御蔵に回ってきたときに、4千円の負担を丸々村民が被るのではなくて、その4千円に対していくらかの補助が出来るのかどうかそのへんを確認させてもらいたいと思えます。

民生係主任

新型インフルエンザのワクチン接種に一人当たり2回接種これに最大費用が8千円掛かるということが厚生労働省

からプレス発表がされたことに鑑みましてその分及びその対策に付随する消耗品を処置して載せています、なお国から自治体への新型インフルエンザワクチンの配布数量等につきましては、まだ国からの通知は来ていませんが現在のこの補正措置につきましても現時点での見積もりにて、住民の方にワクチン接種一人8千円分予算措置したものでございます。

頭影ジョイント

黒田正道議員

時期を逸した感があつていろいろなのですが、航路に長年に亘つて携われてこられた方が本年の1月に亡くなられた、村が20年以上30年ぐらいやられたその船の責任者の方の頭影ということを一度考えてみた方がいいのではないかと思ふのですが。頭影委員会というのを多分開いて頭影については行うのではありません、けれども、委員会すら開かれていないので、この人が頭影に値するのかどうかについて僕は判断しないのですが、その方は議員も30年近くやられたわけですから、合わせてもやはり頭影に値する方かなと私は思ふのですが、そのへんについては検討か何かなされたことがあるのかと。

村長

実は、亡くなった時に私もそのへんについて、えびねの前から本人は船の機関士というところで最初確か従事していたのでは

ないかと、私の記憶ではあるのですが、そのへんでやはりそういうものを考えた方がいいのかなというものをだしたことはあります。それを今回のように具体的にまとめようということまで至らなかつた。確かに時期も1月年明けになると一周忌というかたちになるわけですが、そういうものも踏まえて考えてみるとやはりもう一度そのへんを検討して御相談した中でどういう方向が一番いいのか、私の胸の中にもやはり一部残っているものがありました。ですからそれはこちらの方で一度そのへん含めて検討させていただければと思います。

活動報告

栗本道雄議長

八月 五日

・ 東京都町村長及び東京都町村

・ 議会議長合同会議

・ 都予算要望活動

全議員

九月十一日

全員協議会

定例議会予定

平成21年第四回定例議会

平成21年12月15日(火) 予定

平成22年第一回定例議会

平成22年 3月 9日(火) 予定